

8/27  
市旗

# 平和こそ港の大前提

## 戦争法案反対 港湾労働者らが集会

戦争法案で民間協力者にもならない」と戦争法案反対の声をあげる港湾労働者が、「戦争の加害者にも、被害労働組合・全国港湾労働組合連合会の呼びかけで、今週、東京、大阪、横浜、神戸など全国12の港で集会などが



港湾労働者が呼びかけた戦争法案に反対するデモ行進 25日夜、東京都港区

行われています。

東京では、東京都港区内の9条の会や労働組合などに呼びかけて実行委員会をつくり、25日夜、380人で

「みなと総がかり集会」を行いました。芝浦運河や慶応大学（港区三田）の近くをデモ行進すると、学生たちが「そうだ！」と手を振り、デモ隊と握手しました。

集会で、東京港湾労働組合連合会の阿部純夫副委員長は、「東京

港は商業港であり、平和こそ大前提だ。しかし、戦争に協力させられようとしている。廃案に持ち込もう」と強調。同組合と、港運同盟（連合加盟）、関東地方本部、東京港湾関係労働組合協議会の3者連名で、「安倍自公政権の憲法破壊に反対し戦争法案の廃案を求める決議」を発表しました。

全日本海員組合元中央執行委員の平山誠一さん、俳優座の神山寛さんがあいさつ。慶応大学の小林節名誉教授が講演しました。

港区議会の日本共産党、社民党の区議が出席し、民主党区議がメッセージを寄せました。